

FIELD MARKETING

OCTOBER 2022

ADULT MEN

Kuriyama R&D Office

本資料は貴社業務の参考資料としての活用に
限定し、社外秘資料として管理して下さい。

INDEX

調査結果	1、2、3	ポロシャツ、その他のカットソー	18
コート	4	無地シャツ	19
ブルゾン	5	柄シャツ	20
デザインブルゾン	6	無地ニット、ニットプルオーバー	21
テーラードジャケット	7	その他のニット	22
シャツジャケット	8	スリムパンツ	23、24
デニムジャケット	9	デニムパンツ	25、26、27、28
スリーブレスジャケット、セットアップ	10	ストレートパンツ	29
その他のジャケット	11	テーパードパンツ	30
無地カットソー	12、13	ワイドパンツ	31
グラフィックカットソー	14	カーゴパンツ	32
ワンポイントロゴカットソー、ボーダーカットソー	15	ジョガーパンツ、その他のパンツ	33
パーカ	16、17	雑貨	34、35

撮影場所：新宿駅南口周辺・表参道

撮影日：2022年10月19日（水）

撮影時間：14：00～16：00

天気：曇時々晴

最高気温 18.8 度

最低気温 11.4 度

平均気温 14.6 度

サンプル数：211

調査結果

大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
アウター	コート	テーラードコート	3	3.5%	60.0%
		ステンカラーコート	1	1.2%	20.0%
		ダッフルコート	1	1.2%	20.0%
		合計	5	5.9%	100.0%
	ジャケット	ブルゾン	25	29.4%	31.3%
		テーラードジャケット	17	20.0%	21.3%
		シャツジャケット	11	12.9%	13.8%
		デニムジャケット	10	11.7%	12.5%
		フードジャケット	4	4.7%	5.0%
		ミリタリージャケット	4	4.7%	5.0%
		スリーブレスジャケット	3	3.5%	3.7%
		レザージャケット	2	2.4%	2.5%
		ジャケットセットアップ	2	2.4%	2.5%
		ボアジャケット	1	1.2%	1.2%
		トグルボタンジャケット	1	1.2%	1.2%
合計	80	94.1%	100.0%		
合計	85	100.0%	—		

調査結果

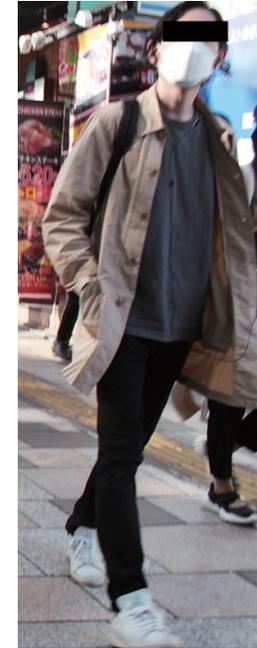
大分類	中分類	小分類	着数	大分類構成比	中分類構成比
トップス	カットソー	無地カットソー	63	30.0%	40.6%
		グラフィックカットソー	32	15.2%	20.7%
		ワンポイントロゴカットソー	9	4.3%	5.8%
		ボーダーカットソー	5	2.4%	3.2%
		総柄カットソー	2	1.0%	1.3%
		パーカ	36	17.1%	23.2%
		ポロシャツ	4	1.9%	2.6%
		カットソーカーディガン	4	1.9%	2.6%
		合計	155	73.8%	100.0%
	シャツ	無地シャツ	24	11.4%	66.7%
		柄シャツ	11	5.2%	30.5%
		ワンポイントロゴシャツ	1	0.5%	2.8%
		合計	36	17.1%	100.0%
	ニット	無地ニット	8	3.8%	42.1%
		ニットカーディガン	7	3.3%	36.9%
		柄ニット	2	1.0%	10.5%
		ニットベスト	2	1.0%	10.5%
		合計	19	9.1%	100.0%
	合計		210	100.0%	—

調査結果

大分類	小分類	着数	大分類構成比
ボトムス	スリムパンツ	63	29.8%
	デニムパンツ	54	25.6%
	ストレートパンツ	32	15.2%
	テーパードパンツ	24	11.4%
	ワイドパンツ	12	5.7%
	カーゴパンツ	12	5.7%
	ジョガーパンツ	9	4.3%
	フレアパンツ	2	0.9%
	ショートパンツ	1	0.5%
	セットアップ	2	0.9%
	合計		211

■ コート

- コートの着用者は、211名中5名のみで非常に少数だった。
- ロングコートは2名のみで3名はハーフコートが着用されていた。
- ベージュやブラウンのコットン素材コートが多かったが、エコレザのブラックコートの着用者も見られた。



■ ブルゾン

- ジャケットの着用者は 80 名で、全体の 37.9% の人がジャケットを着用していた。
- ジャケットの中で最も多く着用されていたアイテムが、ブルゾンでジャケットの 29.4% の着用となっていた。
- フロントジップのブルゾンや MA1 などのミリタリーテイスト、ドリズラータイプのジャケットなどさまざまなブルゾンが着用されていた。
- 素材は、ナイロンが中心だが、綿素材のブルゾンも見られた。
- MA1 タイプでは、カーキなどのミリタリーカラーの着用が見られた。そのほかでは、ブラックが多く着用されていた。
- ワイドパンツのコーディネートはほとんど見られず、スリムパンツやストレートシルエットのパンツが着用されていた。



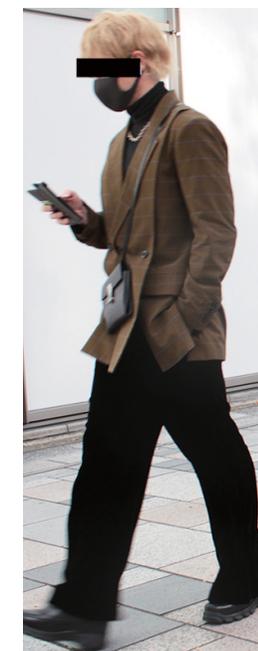
■ デザインブルゾン

- ブルゾンでは無地が中心だったが、スタジアムジャンパーなど、デザイン性の高いブルゾンの着用も見られた。
- ブロッキング、ワッペン、刺繍などのテクニックが使用された、ポップなカラー使いのブルゾンが多く見られた。



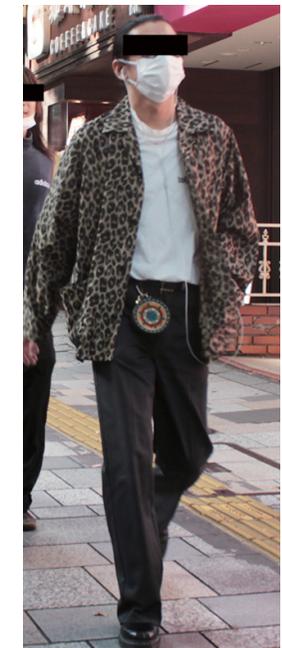
■ テーラードジャケット

- ジャケットでは、ブルゾンジャケット、テーラードジャケット、シャツジャケット、デニムジャケットの4アイテムの着用率が10%以上で、4アイテムの合計で74%となっていた。
- テーラードジャケットは着用率2位だった。
- 上段のブラックテーラードと下段のその他のカラーのテーラードに大きく分かれていた。
- ブラックのテーラードジャケットの場合、インナーやパンツもブラックを着用した、ブラックのワントーンコーディネートが多く見られた。
- その他のカラーの場合は、コットン素材やウール素材のほか、プリント素材や先染めチェック素材も着用されていた。
- ルーズシルエットのテーラードジャケットは見られず、比較的にコンパクトなシルエットのテーラードジャケットが着用されていた。



■ シャツジャケット

- 2022年春の調査時に最も多くの着用が見られたアイテムがシャツジャケットだったが、今回の調査では3番目の着用率となっていた。
- インナーには、カットソーのクルーネックTシャツが多く着用されていたが、パーカやハイネックの着用も見られた。
- 無地のほか、先染めチェックのシャツジャケットが多く着用されており、少数ではあるがレオパード柄の着用も見られた。
- カラーは、ブラックやブラウン系カラーが多く着用されていた。
- CPOタイプのフラップポケット付きのシャツジャケットなどは少なく、カバーオールタイプのデザインが多く着用されていた。



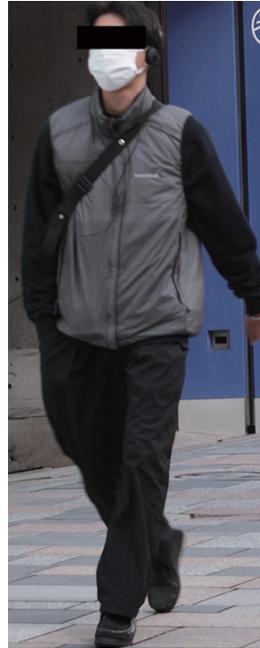
■ デニムジャケット

- デニムジャケットの着用率は4位で11.7%だった。
- ハードな加工の施されたデザインはなく、ジージャンタイプをはじめ、比較的シンプルなデニムジャケットが多く見られた。
- パンツにもデニム素材を着用した、デニムコーディネートも複数見られた。
- デニムカラーはライトブルーから濃色のインディゴブルーまで様々な濃度のデニムが着用されていた。



■ スリーブレスジャケット

- ・ スリーブレスのベストやジレタイプのデザインジャケットの着用者が3名のみが見られた。
- ・ トренд面での注目度は高まっていることから、2023年春以降、ユーティリティベストなども含めて増加の可能性があると思われる。



■ セットアップ

- ・ 2022年春の調査時には7名の着用が見られたセットアップだが、今回は2名のみを着用となっていた。
- ・ ネイビー、ブラウンの無地が着用されていた。
- ・ 素材はコットンやポリエステル素材が着用されていると思われる。



■ その他のジャケット

- そのほか着用者はわずかだが、マウンテンパーカやボアジャケット、レザージャケット、トグル釦付きカジュアルジャケットなどが着用されていた。
- レザージャケットはコレクションでも注目アイテムとなっており、2023年に向けても可能性のあるアイテムであると考えられる。



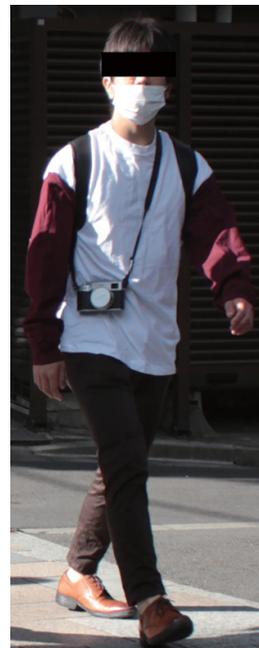
■ 無地カットソー①

- トップス全体の着用率は、カットソー 73.8%、シャツ 17.1%、ニット 9.1% であった。このことからカットソーの着用率が非常に高いことが分かった。また、同時期に調査を行ったヤングの場合は、カットソー 72.9%、シャツ 18.9%、ニット 8.2% という結果だったことから、メンズの場合年代による着用率の違いはほとんど見られなかった。
- カットソーの中で最も多く着用されていたアイテムは、無地のクルーネックTシャツやスウェットだった。
- インナーアイテムとしての着用も多く、シャツジャケットやテーラードジャケットなどさまざまなアウターのインナーとして着用されていた。
- カラーはホワイトが多く、次いでブラックが多く着用されていた。
- 30、40代でもインナーにニットを着用する人は減少し、カットソーを着用する人が増えていると思われる。



■ 無地カットソー②

- カットソートップスをインナー着用する人が多かったが、シンプルなスウェットや長袖Tシャツを単品トップスとして着用する人も多かった。
- カラーはホワイトのほか、トップグレーやベージュ、ブラックなどが多く着用されていた。
- 一部、袖配色のヴィンテージ調や半袖でインナーに長袖Tシャツを重ねる、袖レイヤードの着こなしなども見られた。
- ヤングでも同様であったが、無地のカットソーの場合、ワイドパンツなどとのコーディネートは少なくスリム系パンツが多く着用されていた。



■ グラフィックカットソー

- 無地のカットソー着用者 63 名に対してグラフィックプリントを施したスウェットなどの着用者は約半数の 32 名となっていた。
- ストリート系などのハードなグラフィックの着用は少なく、タイポグラフィやポップなイラスト、カレッジ系ロゴなどが多く着用されていた。一部、総柄プリントも見られた。
- カラーは、ホワイト、ブラック、トップグレーなどが多く、ビビッドなグリーンの着用も見られたが少数派だった。
- グラフィックプリントが施されたスウェットなどの場合は、ボリュームのあるワイドパンツの着用も見られた。



■ ワンポイントロゴカットソー

- ・ 無地ベースにフロントセンターや胸元にブランドロゴなどのワンポイントのロゴ刺繍などを施したカットソーの着用も見られた。
- ・ 大半がホワイトやブラックなどのベーシックカラーだった。
- ・ シンプルなクルーネックのほか、-halfジップの襟付きやカンガルーポケット付きのキーネックなどデザインものの着用も見られた。



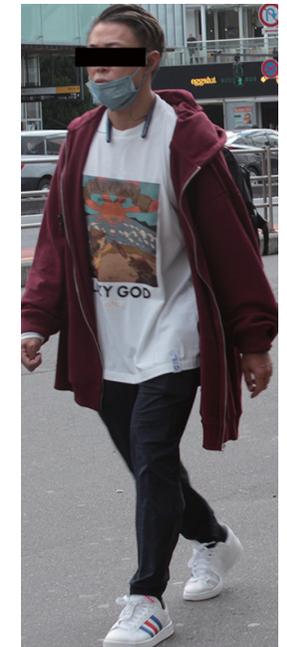
■ ボーダーカットソー

- ・ ヤングでは2名のみだったボーダーTシャツの着用者だが、アダルトでは5名の着用が見られた。ベーシックなボーダーのほか、ワイドピッチのボーダーも着用されていた。
- ・ 2022年春の調査におけるボーダーTシャツの着用者は7名であり、大きな変化は見られなかった。トレンドアイテムではないのでベーシックアイテムとして定着していると考えられる。



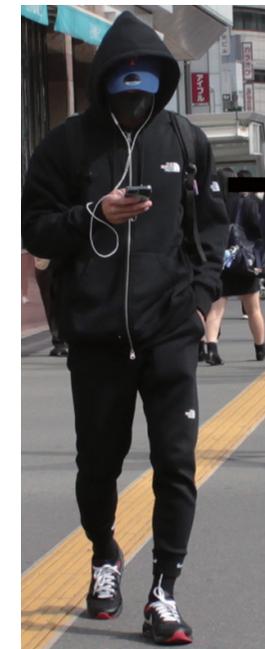
■ パーカ①

- パーカ着用者は 36 名で、カットソー着用者の 23.2% という結果で多くの着用が見られたアイテムとなった。
- パーカでもベーシックカラーが多く着用されていたが、他のアイテムと比較すると、オレンジやレッド、グリーンなどのカラーパーカの着用が目立っていた。
- ルーズシルエットのプルオーバータイプが多かったが、フロントフルジップの前開きパーカも一定の着用が見られた。



■ パーカ②

- ・ パーカでは無地が多かったが、胸元にワンポイントのプリントやロゴ刺繍を施したデザインの着用も見られた。
- ・ カラーはブラックのほか、グレーやミディアムトーンのグリーンなどのカラーも着用されていた。



■ パーカ③

- ・ パーカではワンポイントのほか、タイポグラフィプリントや袖にプリントを施したデザインパーカなどの着用も見られた。
- ・ トップグレーやベージュ、ブラックなどのベーシックカラーのほか、グリーンなどのトラディショナルカラーの着用も見られた。



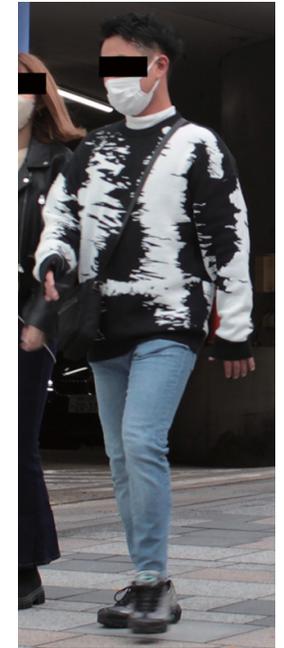
■ ポロシャツ

- 4名のみだが、ポロシャツの着用が見られた。
- 単品トップス、インナーの両方の着用が見られ、ブラックが多かった。
- 1点のみだが、ボディを総柄、袖に無地を使用したデザインポロの着用も見られた。



■ その他のカットソー

- そのほか、カットソー素材を使用したカーディガンや大胆な柄物のカットソーの着用も見られた。
- カーディガンに関しては前年まではニット多く、カットソーはほとんど見られなかったが、今シーズンは、メンズ、レディースともにカットソーカーディガンの着用者が増加傾向にある。
- このような背景から、2023年春物以降、カットソーカーディガンが増加する可能性があると思われる。



■ 無地シャツ①

- シャツは、トップス全体の17.1%の着用率だった。
- 着こなしとしては、ジャケットやカーディガンなどのインナーとしての着用と、単品トップスとしての着用の2つの着こなし方が見られた。
- インナー着用では、ウエストインの着こなしはほとんど見られず、ウエストアウトでレイヤードの着こなしが多く見られた。



■ 無地シャツ②

- 単品トップスとしての着用では、フロントを釦できちんと止めている着こなしと、インナーにTシャツを着用して、羽織アイテムとしてシャツを着用している場合の2通りの着こなしが行われていた。
- シルエットはゆったりとしたルーズシルエットが多く見られた。
- カラーは、レッドなどのカラーシャツも見られたが、ホワイトやブルー系カラーが多く、ダンガリー素材のシャツも着用されていた。



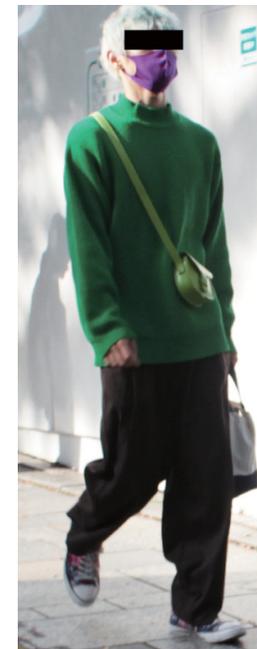
■ 柄シャツ

- 無地のシャツ着用者 24 名に対して、柄物のシャツ着用者は 11 名という結果だった。
- チェックが多く着用されており、続いてストライプが着用されていたが、一部、パネル柄プリントなどのデザイン性に富んだシャツの着用も見られた。



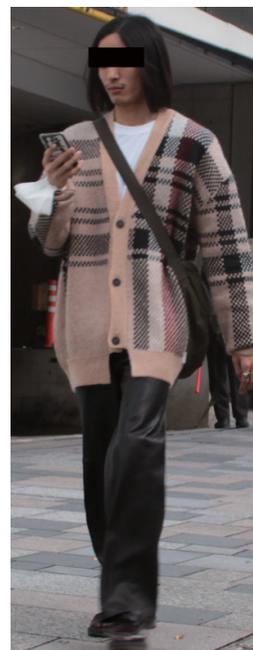
■ 無地ニット

- ニットの着用率はトップス全体の9.1%で、カットソーやシャツと比較して少数だった。
- ジャケットインのハイゲージニット、単品トップスとしてのミドルゲージニットなどが着用されていた。
- ニットプルオーバーはカットソーと比較すると、ハイネックやタートルネックが多く着用されていた。



■ ニットカーディガン

- ニットではカーディガンもプルオーバー同様多くの着用が見られた。
- ブラックなどのベーシックカラーも見られたがブラウンやグリーンなどのカラーカーディガンが着用されていた。
- カーディガンは無地に加え、チェックやアーガイル、ダイヤ柄などのインターシャニットも着用されていた。



■ その他のニット

- 柄ニットはカーディガン以外に、プルオーバーやニットベストでも着用が見られた。
- プルオーバーではモノトーンのグラデーションボーダーやランダムボーダーなどのボーダーニットが見られた。
- ニットベストでは、ほつれテクニクを使ったグランジ調ニットベストやジャカードボーダーの柄ニットベストが着用されていた。



■ スリムパンツ①

- スリムパンツは春の調査同様、最も着用者が多く 26.3% が着用していた。
- カラーはブラックが最も多く、他のカラーと比較するとストレッチ性の高いスキニーパンツの着用者が多く見られた。
- トップスには様々なアイテムがコーディネートされていたが、全体的にルーズシルエットやボリューム感のあるアイテムが着用されていた。



■ スリムパンツ②

- スリムパンツではブラックの着用者が多かったが、そのほかのカラーでは、ベージュやサンド、キャメルなどのブラウン系カラーが多く着用されていた。素材は、コットンのチノやツイルなどが多く着用されていた。
- そのほか、グレーやカーキなどのスリムパンツの着用も見られた。
- 少数ではあるが、先染めチェックのスリムパンツも着用されていた。素材は薄手の梳毛素材が着用されていたと思われる。



■ デニムパンツ①

- スリムパンツに次いで多く着用されていたのがデニムパンツで、全体の 25.5% の着用率だった。
- スリムパンツとデニムパンツの合計で着用率は 50% を越えており、多くの人がこのいずれかのパンツを着用していることが分かる。
- デニムパンツにおいても様々なシルエットのパンツが着用されていたが、デニム以外のパンツ同様、スリムシルエットのデニムパンツが最も多く着用されていた。
- ウォッシュ加工などが施されたライトブルーカラーのデニムの着用も見られたが、比較的濃色のインディゴカラーの着用が多く、その他ブラックデニムなどの着用も見られた。
- 90年代ヴィンテージなどで注目された、クラッシュデニムなどの着用は、わずかだった。



■ デニムパンツ②

- デニムパンツで、2番目に多くの着用者が見られたのが、ストレートシルエットのデニムパンツだった。ワイドストレートは少なく、スリムストレートシルエットの着用者が多かった。
- スリムシルエットのデニムパンツ同様、ライトブルーデニムよりも濃色のデニムが多く、後加工も比較的になかった。



■ デニムパンツ③

- ・トレンド面で注目度が高まっているワイドシルエットのデニムパンツ着用者も見られた。
- ・ヤングでの着用者が20名であったのに対し、アダルトでは12名であったことから、ワイドパンツはY2Kの影響やストリート系の要素があるためにアダルトの着用は少ないと思われた。
- ・スリムシルエットやストレートシルエットのデニムパンツでは少なかったウォッシュ加工が施されたライトブルーカラーも多く着用されていた。



■ デニムパンツ④

- ・着用者は少なかったが、さまざまな後加工を施したデニムパンツの着用者も見られた。
- ・クラッシュデニムなど継続して着用されていたタイプも見られたが、ファスナーアクセントやグラデーションペイント、グラフィカルなモチーフプリントなどが新鮮だった。



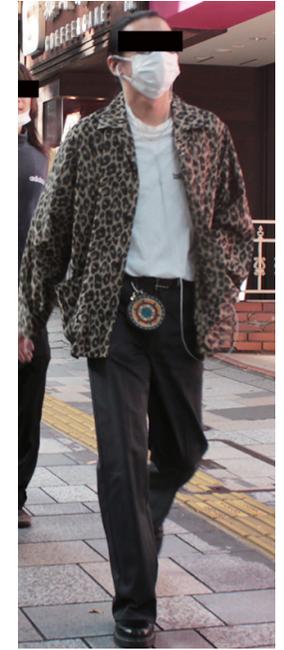
■ その他のデニムパンツ

- 着用者は少なかったが、ウエスト～ヒップにゆとりがあり、裾がスリムになっているテーパードシルエットのデニムパンツの着用も見られた。



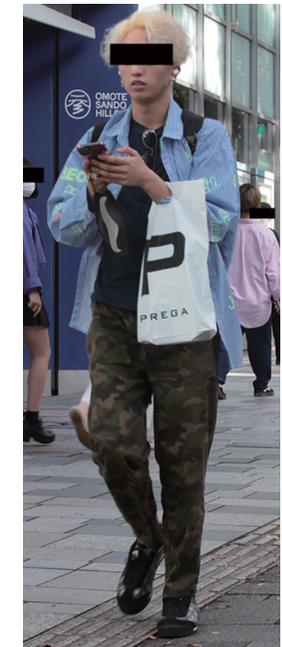
■ ストレートパンツ

- ストレートシルエットのパンツ着用者は32名で3番目に多い着用者数で、着用率は15.2%だった。
- ストレートシルエットは中庸的なシルエットであるため、さまざまなトップにコーディネートできることから、高い着用率になっていると思われる。
- カラーはブラックが多いが、さまざまなディープトーンのカラーパンツも着用されていた。
- 素材は、カジュアルなコットン素材からドレープ性のある合繊素材まで、さまざまな素材が着用されていた。



■ テーパードパンツ

- テーパードパンツは4番目に着用者が多く、24名が着用していた。ここまで登場したスリムパンツ、デニムパンツ、ストレートパンツ、テーパードパンツの4アイテムまでが着用率が10%以上のアイテムで、4アイテムの着用率の合計は82%という結果だった。
- カラーはブラックが多くその他、ホワイトやブラウンなどが着用されていた。無地が非常に多いが、迷彩柄などの柄物のパンツの着用も見られた。
- 大半がフルレングスだったが、一部、カットレングスのテーパードパンツも着用されていた。
- 素材は適度な分量感があることから、ソフトな梳毛タイプが見られ、その他ではコットン素材が着用されていたが、エコレザーの着用者も見られた。



■ ワイドパンツ

- 春の調査では 22 名の着用が見られたワイドパンツであったが、今回の着用者は 12 名と減少していた。
- Y2K トレンドの影響などから、一時的に増加したワイドパンツもやや落ち着きを取り戻してきたかと思われる。
- カラーはブラックが多く、素材はテーパードパンツと同じく、ドレープ性のある梳毛タイプの素材や合繊素材、カジュアルなコットン素材、少数であるがエコレザー素材などが着用されていた。



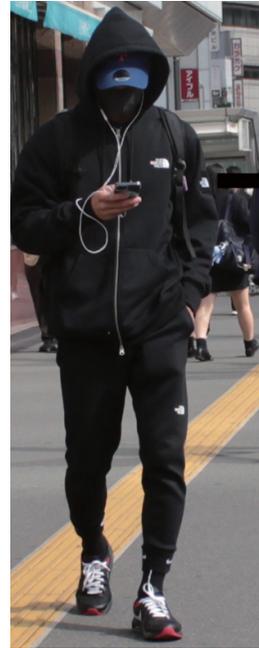
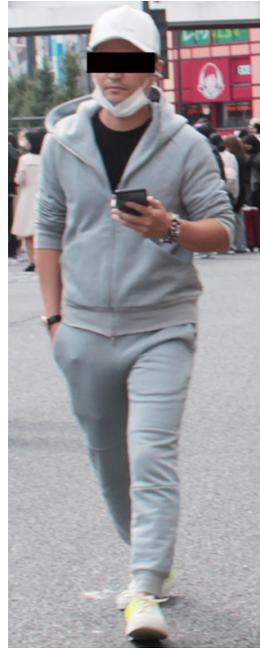
■ カーゴパンツ

- カーゴパンツは春の7名から12名に着用者の増加が見られた。背景には、コレクションでの注目度が高まっている点や、店頭でカーゴパンツを展開するブランドが増えている点があると思われる。
- カラーは、カーゴパンツでもブラックが多いが、カーキなどのミリタリーカラーも多く着用されていた。
- シルエットは、ワークやミリタリーテイストが多いためにルーズなシルエットが中心となっているが、ブラックなどでタウンユースのモード系スタイルではスリムスト레이트も着用されていた。



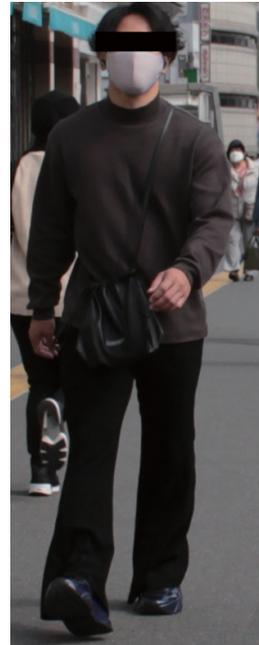
■ ジョガーパンツ

- ジョガーパンツも毎回登場するアイテムであるが、今回も9名の着用が見られた。
- スポーツブランドのロゴ入りやラインアクセントの施されたジョガーパンツが着用されていた。
- グレーやブラックなどのベーシックカラーのほか、レッドやグリーンなどのスポーティーなカラーも見られた。



■ その他のパンツ

- 着用者はわずかだが、フレアシルエットのパンツ着用者とショートパンツの着用者も見られた。



2022 OCTOBER ADULT MEN FIELD MARKETING

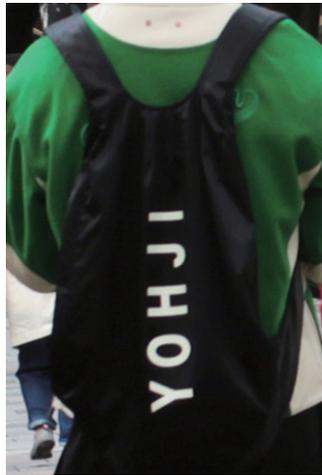
BAG

リュック 63 42.8%
トートバッグ 23 22.9%

ショルダーバッグ 38 24.0%
ボディバッグ 11 10.3%

合計 135

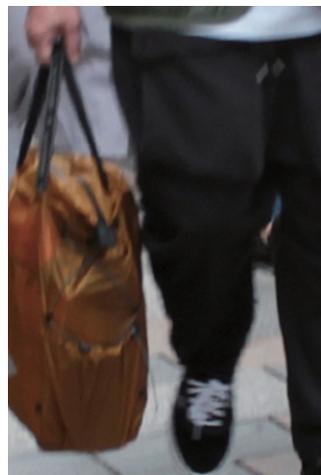
リュック



ショルダーバッグ



トートバッグ



ボディバッグ



2022 OCTOBER ADULT MEN FIELD MARKETING

SHOES

スニーカー	146	69.2%
その他 (ローファー、トレッキングブーツ、レースアップシューズなど)	65	30.8%
合計	211	

スニーカー



その他



HAT&CAP

ベースボールキャップ	25	ニットキャップ	4
バケットハット	6	キャスケット	1
合計	36		

ベースボールキャップ



バケットハット



ニットキャップ



MASK

ホワイト	102	48.3%	ノーマスク	38	18.0%
ブラック	55	26.1%	カラー	16	7.6%
合計	211				

ホワイト



ブラック



カラー



FIELD MARKETING

OCTOBER 2022

ADULT MEN

– PICTURE LIST –

2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

テーラードコート



ステンカラーコート



ダブルコート



ブルゾン



ブルゾン



ブルゾン



テーラードジャケット



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

テーラードジャケット



シャツジャケット

シャツジャケット



デニムジャケット

デニムジャケット



フードジャケット

2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

ミリタリージャケット



スリーブレスジャケット



レザージャケット



ジャケットセットアップ



ボアジャケット



トグルボタンジャケット



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

無地カットソー



無地カットソー



無地カットソー



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

無地カットソー



無地カットソー



無地カットソー

グラフィックカットソー



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

グラフィックカットソー



グラフィックカットソー



ワンポイントロゴC&S

ワンポイントロゴカットソー



ボーダーカットソー



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

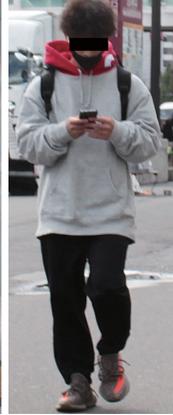
ボーダーC&S 総柄カットソー



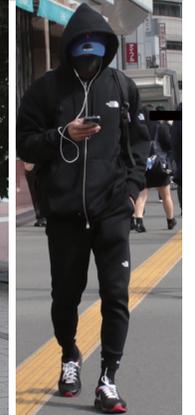
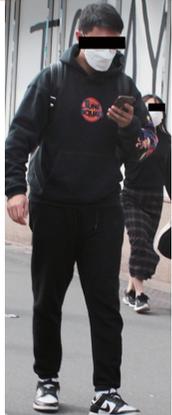
パーカ



パーカ



パーカ



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

パーカ



ポロシャツ



カットソーカーディガン



無地シャツ



無地シャツ



無地シャツ



柄シャツ



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

柄シャツ



ワンポイントシャツ



無地ニット



無地ニット



ニットカーディガン



ニットカーディガン



柄ニットプルオーバー



ニットバスト



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

スリムパンツ



スリムパンツ



スリムパンツ



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

デニムパンツ



デニムパンツ



デニムパンツ



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

デニムパンツ



ストレートパンツ



ストレートパンツ



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

ストレートパンツ



テーパートパンツ



テーパートパンツ



テーパートパンツ



ワイドパンツ



2022 OCTOBER ADULT MEN PICTURE LIST

